



## 【時】・【希望】・【明日】・【夢】

副校長 久保田 謙

【時】・【希望】・【明日】・【夢】と聞いて、「ああ、あのことね。」と納得できるのは、よほどの白金小通か、かなり注意力の高い方か、昭和55年度の卒業生でしょう。もちろん、現役の白金小学校の子ども達なら知っているかもしれません。特に毎日中央階段を利用する5,6年生なら分かりますね。

さあ、ここまでのヒントで“ピン!”ときた方はいるでしょうか。



実はこれ、中央階段の1階から3階の壁に飾ってある昭和55年度卒業生の卒業制作のタイトルです。4作品にそれぞれ題名がついており、それが【時】・【希望】・【明日】・【夢】です。昭和55年度というと私が小学校に入学するころです。私が胸を弾ませながら入学した時期に学校を卒業していった先輩方の作品が、今も白金小学校を彩っているというのはとても感慨深いものです。どれも淡い色彩の作品ですが、制作された当時はまた違った様子だったのかもしれませんが。それから約45年の月日が過ぎ去ったこととなります。光陰矢の如し、あっという間です。

よく年を取ると月日の経つのが早くなると言います。私もそのように感じるが増えましたが、先日妻から「それって老化らしいよ。」と言われてドキッとしました。妻曰く、「老化した脳が、外部からの刺激に対する感受性が弱くなり記憶を鮮明に留めてられなくなってきている。なので、あっという間に時が過ぎるように感じる。」のだそうです。ほんとかなど思う反面、たしかに・・・とも思います。一瞬、寂しいことだと思いましたが、「いや、待てよ。」と思直しました。もしそうであるなら、子ども達は、その柔らかな脳を駆使し、きっと日々感動や驚き、発見に触れ密度の濃い時間を過ごしているんだよな、と思ったのです。少しずつ知識を蓄えていくゆるやかな尊い時間はとても羨ましくもあります。

本校では、日々の教科の授業に加えて体験的な学習を大切にしています。校外学習だけでなく、外部の講師の方をお呼びして「ラグビー」や「ボッチャ」などの体験をしたり、「外国の方と交流」の機会をもったり、PTAの方々には「もちつきや子どもまつり」なども開催してくださっています。その一つ一つが子供たちの柔らかい脳の刺激となり【夢】を見付けるきっかけになったり、【明日】への【希望】になったりしてくれるのではないかと考え、取り組んでいます。子どもたちの【時】が一層豊かになるように、これからも工夫しながら学習活動を進めていきます。

## ふれあい月間 ～聞くことから始まること～

生活指導主幹 清水大翼

1年は早いもので、校内では進級学年に向けての準備が始まっています。体の成長と共に心も成長していきます。心の成長は、他者理解が深まったり、自己主張が確立されてきたりと、自分と相手と比較できるようになります。また、気が合う友達、そうでない友達を受け入れることも一つの成長です。本校では、学期ごとに「ふれあい月間」と銘打ち、子供たちが必ず担任や学年の先生などに相談できる時間を設けています。「勉強が難しい」「友達と喧嘩してしまった」「習い事が忙しい」など、悩みは様々です。話をするだけで前向きになれる子、大人からのアドバイスで気持ちを新たにできる子など、解決方法もさまざまです。子供たちの成長にあった声掛けは何かと試行錯誤し、日々向き合っています。さて、ご家庭ではいかがでしょうか。子供の成長に伴い、声掛けが難しくなることもあれば、自分のことは自分でできるようになったり、家族より友達のことを優先するようになったりと、日々試行錯誤されながら子供の成長と変化に悩まれているのではないのでしょうか。そんな時はまず子供の声を聞いてみませんか。話したくない様子でしたら、無理に聞き出そうとせず、タイミングを見て、声を掛けてみましょう。学校も保護者の皆様の悩みに寄り添いながら、お子様のために全力を尽くします。今年度最後の「ふれあい月間」も「聞く」ことから始め、来年度の新学年で一人一人の子供たちが気持ちのよいスタートがきれるようにしていきたいと思っております。